



新年のごあいさつ

会長

久慈士郎



新年あけましておめでと
うございます。

会員の皆さまにおかれま
しては、令和8年心新たに
健やかな新年を迎えられた
こととお慶び申し上げます。
日頃より当会の活動に多大
なご支援とご協力を賜り、
役員一同深く感謝申し上げ
ます。

さて、昨年を振り返りま
すと、まさに「時代の転換
期」を実感させる1年でし
た。長引く物価高騰は私た
ちの生活に影を落とし、世
界情勢の不安定さも相まっ
て、先行きの見えない不安
が社会全体を覆いました。
各地で頻発した水害・地
震などの自然災害、大船渡
市の山林火災は建物被害
210棟におよぶ甚大な被
害でした。そして連日報道
されたクマによる被害など、
私たちの安全な暮らしを脅
かす出来事が相次ぎました。
改めて、自然の猛威、野生

動物との共存の難しさを痛
感させられました。

野田村では、「鳥獣保護管
理法」に定めるクマ13頭
イノシシ3頭が駆除された
とのこと。そして11月
には三陸道下り線の下安家
トンネル出口付近で、大型
トラックが体長1メートル
のクマと衝突。死んだ母ク
マのそばに子クマ2頭が10
時間に亘りとどまったため
通行止めとなったとか。

デジタル化の波は加速度
的に高まり、便利さと引き
換えに、人と人が直接触れ
合う機会が年々貴重なもの
となってきました。当会に
おきましてはこの社会変化
は大きな試練となって表れ
ています。会員の高齢化に
伴う退会者の増加と、それ
に伴う会員数の減少です。
かつてのような賑わいを
維持することが年々難し
くなっており、設立当初
250名程いた会員も現在

100名程度に減少しまし
た。「ふるさとを想う心を繋
ぐ」という当会の灯を絶や
してはならないという思い
で、試行錯誤を重ね役員一
同頑張っております。

このような時代だからこ
そ、同じふるさとの空気を
知る仲間が集い、励ましあ
う「心の拠り所」としての
役割は、より一層重要になっ
てくると確信しています。

会員の皆さまには、現状
の厳しさをご理解いただき、
今後とも変わらぬご支援と
お近くの友人・知人への入
会のお声がけなど、特段の
ご協力をお願い申し上げま
す。

村においては、道の駅の
だ「ばあふる」が三陸沿岸
道路野田IC付近に移転オー
プン、中学校そばに小学校
新校舎の開校など明るい話
題もありますので、帰省の
際はお立ちより頂ければ幸
いです。

結びに、本年が皆さまに
とって、健康で笑顔の絶え
ない一年となりますことを
心より祈念いたしまして、
新年のごあいさつとさせて
いただきます。

新年のごあいさつ

野田村長 小野寺勝幸



明けましておめでとう
ございます。
会員の皆さまにおかれ
ましては、日頃からふる
さと野田村のため、心温
まるご支援とご協力を賜
り、心から厚く感謝申し
上げます。

野田村の初日の出は、
あいにくの雪模様となり
ましたが、厚い雲の間間
から差し込む光に、新た
な1年への希望を感じる
ことができました。

本村を取り巻く諸課題
は多岐にわたりますが、
それらを一つひとつ乗り
越え、着実に歩みを進め
る決意を新たにしてお
ります。

昨年を振り返りますと、
クマなどの有害鳥獣被害
や物価高騰が続き、住民
生活に大きな影響を及ぼ
した1年でありました。
村においても、ナラ枯
れや貝毒の発生など、厳

しい状況が続いています。

一方で、交流物産等複
合施設の整備や野田小学
校新校舎の開校といった、
村の将来を担う大きな事
業が完了した「節目」の
年でもありました。困難
な環境下にあっても、変
化に柔軟に対応し、可能
性を切り開こうとする力
強い動きも生まれていま
す。

また、昨年は貴会の総
会・ふるさと交流会に加
え、日帰りレクリエーショ
ンにも参加させていただ
きました。皆さまとお会
いし、直接お話しできた
ことは、私にとっても忘
れられない貴重な時間と
なりました。故郷を離れ
てなお、変わらぬ愛情を
持つて集う皆さまの姿は、
大変心強く、大きな励み
となっております。

本年は、村の最上位計
画である総合計画が始動

する極めて重要な年です。
この計画は、村の将来を
見据え、今後10年の村の
あるべき姿、ありたい姿
を描き出した、今後の村
づくりの指針となるもの
です。

全国的にも課題となっ
ている、少子高齢・人口
減少社会への対応、頻発・
激甚化する災害及び将来
発生が想定される大規模
地震・津波を見据えた防
災対策の強化、福祉行政
の推進による安全・安心
の村づくりを進めてまい
ります。

個々の施策や取り組み
を点で終わらせるのでは
なく、「点から線、線から
面へ」と連携を深め、行
政のみならず、村民の皆
さま、村を支えてくださ
る交流層の皆さまと共に
「オール野田村」の体制で
未来を切り拓いてまい
ります。

結びに、貴会により一
層のご発展と会員の皆さ
まにとつて幸多き1年と
なりますことを心よりご
祈念申し上げます、新年のご
あいさつといたします。

日帰りレクリエーションの様子を写真で紹介



ご寄稿いただいた坂下さんと小沢さん



いろいろな食材を準備しました



桜庭顧問の乾杯の発声でスタート



食べて、飲んで、会話にも華が咲きます



村の美味しい特産品も！



会員の声



坂下 勝美
上泉沢出身・
野田中昭和60年卒

「日帰りレクに参加して」
上泉沢出身の坂下勝美
と申します。令和7年度
より、はまなす会に入会
しました。

18歳で上京して37年が
過ぎましたが、関東では
まなす会が開催されてい
ることは今の小野寺村長
から聞かされました。37
年間、はまなす会という
存在を知らなかった自分
は、愛郷心がなかったと
思います。

父親が亡くなり、兄が
家を引き継いで、私は東
京で家族と暮らしてはい
ませんが、今回をきっかけ
にはまなす会を可能な限
り盛り上げていきたいと
思います。

私は、地図に残る仕事
をしています。令和7年
6月22日の総会・ふるさ
と交流会は、私の勤める
会社が毎年新年会で使用
している「東天紅上野店」

が会場でしたので、安心
感がありました。とはい
え、37年東京に住み野田
村の人と交友もなく、そ
の総会に初参加するの
は、多少不安が隠せない
のが正直な感想です。

また、令和7年10月
12日の日帰りレクリエー
ション（バーベキュー）
にも参加しました。

会場は、住まいから車
で10分ほどの所にあり、
子どもを連れて公園遊
び、演技会場での子ども
のお遊戯、夫婦でのライ
ブ鑑賞と多様に使って
いた場所でした。

イベントでは、小野寺
村長がご自宅で生産され
たお米を提供いただき、
イベント景品とし、場を
盛り上げてくれました。
残念ながら私は外れてし
まいりました。



日帰りレクで焼きそばづくり

食材は安家川の鮎、ホ
タテ、田楽、焼肉、しい
たけの素焼き、そしてワ
イン（紫雲）やビールな
どをお腹いっぱいになる
ほど沢山準備していただ
きました。

当日は「焼き担当」も
務めさせていただき、焼
きそば職人として、ソー
スベースはもちろん、野
田塩を使つての塩焼きそ
ばを造り好評でした。

役場の廣内さんの焼き
方に感銘。ホタテの焼き
返し方、アユの水分の飛
ばし方、ホクホク加減の
焼き方に感動しました。

お酒の力も借りて、会
話もはずみ、飲みながら
食べながら連絡先の交換
をしつつ、関東にいらっ
しゃる諸先輩方々と交流
を深めることができました。

今後は、はまなす会存
続のためにも、関東在住
の野田村民の会員を広め
ていきたいと思えます。

会員の声



小沢 秀和
神奈川県
川崎市在住

「日帰りBBQに参加して」
はまなす会総会・交流
会や、日帰りレクリエー
ションのバーベキュー大
会に参加させていただき、
ありがとうございました。

私の父母は東京生まれ
で、東京育ち、私も東京
で生まれ、3歳の時に川
崎に引越し、今でも川崎
市宮前区に住んでいます。
仕事で平成10年までは、
よく東北の方に行きまし
たが、盛岡市内までで、
野田村のことはよく知
りませんでした。

その後、はまなす会に
参加して、会員になり、
会報など見て、「本当に行
きたい」と常々思ってい
ます。

さて、待ちに待ったバー
ベキュー大会。今回で3
回目の参加をさせて頂き
ました。今回も本当に美
味しいホタテ、鮎、シイ
タケ、また南部福来豚や、

味噌田楽、買い出しの品々
いろいろ用意していただ
きました。

初めて参加した時に食
べたホタテの味が、いま
だに忘れることが出来ず、
今回も生で1個、焼きで
6個いただいでしまいま
した（すみません）、本当
に美味しかったです。

また、クイズ大会や、
ジャンケン大会で盛り上
がっている時も、ホタテ
をいただきます（また
また、すみません）。段取
りをしていただいた、幹
事さん、役場の皆さん、
村長さん、本場に有難う
ございました。

皆さんと準備や片付け
をしながら楽しくお話し
をしたことが、何より楽し
かったです。次回も元氣
でお会いしたいと思います。
次回も宜しく願います。

今年こそ、野田村に行
きたいと思えます、です
が今年もあと、2か月を
切りました。来年かな？
（昨年11月にご寄稿いた
だきました）

飛鳥山マルシェに

参加して

副会長 山根 正信

令和7年11月15日（16日）に渋沢栄一に縁のある北区飛鳥山公園で、北マルシェ（同実行委員会主催）が開催され、野田村からも出店がありました。

久方ぶりの、晩秋の行楽日和の好天に恵まれ、当日は七五三で大勢の子ども連れの親子が参加し、大変賑わいがありました。

村から荒海団の安藤智子さん、株式会社のだむらの皆川隆之祐さん、役場の木村剛さん、中野雅章さん、前田綾杜さんが参加しました。山葡萄ワインのカップ売りや、ホタテの蒸し煮は絶妙な組み合わせ。飛ぶように売れ、用意したホタテ400個が完売したと伺いました。

15日ははまなす会の米田忠男さん、志村良子さん、山根正信、午後から戎谷牧子さんが参加し、16日は久慈士郎会長が参加しました。



のんちゃんと一緒にハイチーズ

イベントでは、ステージで子供わんこ蕎麦大会が行われ、子ども5組が参加し7分で、わんこ蕎麦を何杯食べられるかを競い大変な盛況でした。ハイドンドン、ハイジャンジャンの掛け声に、夢中で蕎麦を食べる背後から、野田村のスーパヒーロー「のんちゃん」が登場。子ども達は食べたいのと、「のんちゃん」に気が取られ、パニックに。わんこ蕎麦大会終了後、「のんちゃん」の周りには子どもたちが、興味津々集まってきました。モフモフの大きなお腹に触ったり、抱き着いたり、大変な人気ぶりでした。

久慈暁子さん

レポート

読売新聞東京版掲載

暁子さんのお父さまは久慈会長のご兄弟です。令和7年11月28日読売新聞東京版にレポートが掲載されましたので一部ご紹介いたします。

岩手県内陸南部の水沢市、現在の奥州市で、広大な田んぼやりんご畑に囲まれて生まれ育ちました。

岩手の地元局のアナウンサーだった母は、私が小学生の頃に高校の英語教師に転じました。勉強は好きではなかったのですが、中学生になると、母に日々勉強する教材のページを決められました。従順に言うことを聞いていたら、行きたい高校に合格できたんです。

父の故郷で、岩手の沿岸北部の野田村には毎年遊びに行っていましたね。海鮮ラーメンがとにかくおいしくて、牛乳瓶に入った生ウニや大きなホタテ

もよく食べていました。

地元の高校を卒業後、上京して青山学院大に進学。田舎者で、街頭で配っているティッシュは全部受け取らないといけないと思っていました。入学直後の平成25年春に渋谷駅前でスカウトされた時も、「話は聞かなければならない」と思ったんです。

今の事務所と縁があり、最初はバイト感覚の軽い気持ちで始めました。ナレーションの仕事をした時に声をほめてもらったことがきっかけで、母もやっていたアナウンサーを目指しました。平成29年にフジテレビに入社し、1年目から「めざましテレビ」のスポーツコーナーを担当。生放送は何があっても自分ですぐにかするしかないので、すぐく度胸がつかまりました。

取材で出会ったのがプロバスケットボール選手渡辺雄太です。米国でNB A選手として真面目に競技と向き合う姿が印象的で、令和4年に結婚退社しました。

○友好団体との交流

開催日	友好団体	場所	出席者
6月14日	久慈高校同窓会東京支部	大手町サンケイ会館	桜庭顧問
10月5日	久慈ふるさと会	東天紅上野店	桜庭顧問
10月26日	ふるさと普代会	東京ガーデンパレス	久慈会長
11月15日	在京軽米会	アートホテル日暮里ラングウッド	久慈会長 坂本幹事長
11月22日	東京大野つばさ会、在京たねいち会	東天紅上野店	久慈会長

【あしがき】

(M・Y)

- ◆食は命、食は文化。
- ◆ホタテの香ばしい匂い、福来豚焼きの美味しい香り、田楽の懐かしい味。
- ◆食は時間と空間を超えて一瞬で結ばれる。
- ◆そこに故郷がありました。
- ◆これを選んだ方に感謝。最高の贈り物でした。心も体もホカホカ。